

各 位

## キャラバン隊活動について (お願い)

令和6年6月16日発足

知的・発達障害理解啓発キャラバン「とくしま藍隊」の長原と申します。とくしま藍隊は、上板町手をつなぐ育成会の啓発事業を行うチームで、一人でも多くの方に知的・発達障がい(児)者に対する正しい理解を広めることを目的に、先般言われている「地域共生社会」の実現に向け活動をしています。手をつなぐ育成会は、知的障がい者(発達障害含む)の保護者等でつくる団体です。

とくしま藍隊は、「真面目な話を楽しく話す」をモットーに、親しみやすい講演を心掛け、小学生からお年寄りまで、企業、公共団体、各種団体・学校等の研修会、人権教育(授業・講義)でお話できる内容となっております。

資料をご覧いただき、研修会や授業等に呼んで頂けたら幸いです。  
ご検討の程、よろしくお願い致します。

上板町手をつなぐ育成会  
知的・発達障害理解啓発キャラバンとくしま藍隊  
代表 長原章博  
社会福祉士／介護福祉士／生活支援員  
kamiitaikuseikai@yahoo.co.jp

### 参考資料

- 活動実績 <https://kamiitaikuseikai.web.fc2.com/zisseki.pdf>
- 活動等紹介(Facebook) 上板町育成会「とくしま藍隊」

# 知的・発達障害理解啓発キャラバン とくしま藍隊

## ●活動目的

「真面目な話を楽しく話す」をモットーに、わかりやすく参加しやすい知的・発達障害疑似体験を通して、一人でも多くの方に知的・発達障がい(児)者に対する正しい理解を広める。

## ●活動理由

①障害者権利条約に批准し、「障害者差別解消法」「障害者虐待防止法」など、法の整備は進んできたが、知的・発達障がい(児)者が、地域で安心して暮らしていく為には、法律の整備だけでなく、「知的・発達障害疑似体験」を通して、知的・発達障がい(児)者への正しく理解を深め、より一層の見えない壁を取り除くこころのバリアフリーを進める必要がある為。

②学校の総合学習や地域の市民講座などで、障がい(児)者理解を取り入れる機会は多くなっており、様々な疑似体験が行われている中、知的・発達障がい(児)者理解は、障害の特性から、なかなか進んでいないのが現状である。  
そこで、広島市手をつなぐ育成会「ひろしまあび隊」、兵庫県たつの市「ぴーす&ピース」、山形県「花笠ほーぶ隊」の活動を参考に、知的・発達障がい(児)者が抱える見た目には分かりづらい困り感への理解を進める必要がある為。

## ●とくしま藍隊隊員【2026.1.1 現在】

隊員数: 10名／女性 6名、男性 4名 (20代～60代)

《主な所属・職種・資格など》

上板町育成会、他町育成会、相談支援専門員、中学校教諭、保育士  
社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、作業療法士、公務員

## ●受講対象者

会社社員、団体職員、施設職員、学校教員・学生・生徒・児童、地域住民等全ての方



上板町手をつなぐ育成会  
知的・発達障害理解啓発キャラバン とくしま藍隊  
代表 長原 章博  
kamiitaikuseikai@yahoo.co.jp

上板町育成会「とくしま藍隊」

<https://kamiitaikuseikai.web.fc2.com/>

各種研修会・人権学習など承ります

相手を理解すれば、優しくなれる!!

# 知的・発達障がい 疑似体験

ワークショップ

知的・発達障害理解啓発キャラバン



ご用命は、上板町手をつなぐ育成会

[kamiitaikuseikai@yahoo.co.jp](mailto:kamiitaikuseikai@yahoo.co.jp)